

外来種「アルゼンチンアリ」と戦う

広島県福山市では、2019年に初めてアルゼンチンアリが確認されました。アルゼンチンアリは、南米原産で体長2.5mmほどの小さなアリですが、特定外来生物として指定され、今や日本各地で大量繁殖しています。このアリは、驚くほどの繁殖力でコロニーを大きくし、在来種を駆逐するなど生態系を破壊し、時には農作物に多大な被害をもたらします。

その厄介なアルゼンチンアリ根絶に向けて、アース製薬は福山市と協働し、現地調査を実施するなど、効果的な防除について連携して取り組んできました。2022年には、当社製品を用いた定期的な町内防除活動が実施されました。当社は薬剤使用方法についてアドバイスすると同時に、現地での意見交換などを積極的に行いました。その結果、アルゼンチンアリの確認地点数および生息密度が2021年よりも減少しました。

その功績が認められ、2023年3月に福山市役所よりアルゼンチンアリ防除に係る薬剤提供について感謝状をいただきました。また、その際に開催された地元自治会向けの説明会では、アルゼンチンアリ根絶に向けた防除活動や薬剤の使用方法、他都市での対応事例について紹介しました。当社は、今後も重要な地域課題のひとつである生物多様性保全に貢献するため、公民連携の推進を強化していきます。

※当社と福山市は2022年7月29日に包括連携協定を締結しました。

